

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 2001093025 A

(43) Date of publication of application: 06.04.01

(51) Int. Cl

G07D 9/00

G06F 17/60

G07G 1/12

G07G 1/14

(21) Application number: 11264903

(22) Date of filing: 20.09.99

(71) Applicant: FUJI ELECTRIC CO LTD

(72) Inventor: SUMIKAWA TAKESHI
TODOROKI MASAYUKI

(54) MONEY STOCK MANAGEMENT SYSTEM

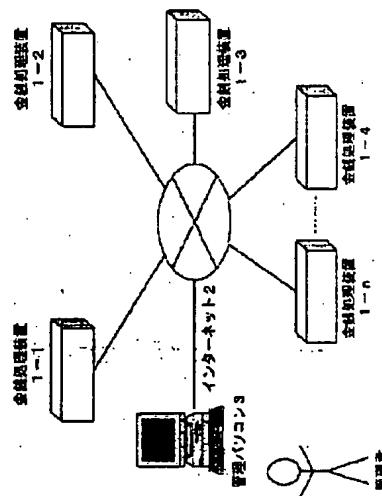
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate such need that a manager prepares extra cash for change in some extent, because the manager knows the amount of coins and paper monies necessary for supplying change only when he goes to each money processor in the conventional money processor.

SOLUTION: The money processor 1 is provided with a function as a Web server. A manager performs access from a managing personal computer 3 through an internet 2 to each money processor 1 for reading a money receiving/ dispensing situation. Also, a request for the replenishment of change or the collection of a large denomination paper money is transmitted from the money processor 1 to the managing personal computer 3 through an electronic mail.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

本システムの全体構成を示す図



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願
特開2001-
(P2001-)

(43)公開日 平成13年4月

(51)Int.Cl.
 G 07 D 9/00
 G 06 F 17/60
 G 07 G 1/12
 1/14

識別記号
 456
 321

F I
 G 07 D 9/00
 G 07 G 1/12
 1/14
 G 06 F 15/21

審査請求 未請求 請求項の数 6

(21)出願番号 特願平11-264903

(71)出願人 000005234
富士電機株式会社
神奈川県川崎市川崎区田町

(22)出願日 平成11年9月20日(1999.9.20)

(72)発明者 佐川 健
神奈川県川崎市川崎区田町
富士電機株式会社内(72)発明者 等々力 正行
神奈川県川崎市川崎区田町
富士電機株式会社内(74)代理人 100074099
弁理士 大曾 義之

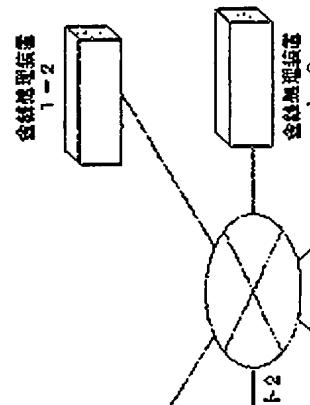
(54)【発明の名称】 金銭在高管理システム

(57)【要約】

【課題】 従来の金銭処理装置では、釣り銭補充の為に必要な硬貨・紙幣がいくら必要なのかは、管理者が各金銭処理装置に行って初めてわかるため、ある程度余分を見込んで釣り銭用の現金を準備する必要があった。

【解決手段】 金銭処理装置1は、Webリサーバとしての機能を持つ。管理者は、管理パソコン3からインターネット2を介して各金銭処理装置1にアクセスして入出金状況を閲覧する。また金銭処理装置1から管理パソコン3に釣り銭の補充、高額札の回収の要求を電子メールで送信する。

本システムの全体構成



(2)

特開20

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 金銭の入出を管理する複数の金銭処理装置と端末装置とがネットワークで接続される金銭在高管理システムであって、

前記各金銭処理装置は、前記ネットワークに接続するための第1のネットワークインターフェース手段と、前記ネットワークに接続された前記端末装置に対して自身の持つ情報を提供するWWWサーバとしての機能と、各硬貨・紙幣の種類毎にその入出状況を管理する在高管理手段と、を備え、

前記端末装置は、前記ネットワークに接続するための第2のネットワークインターフェース手段を備えることを特徴とする金銭在高管理システム。

【請求項2】 前記各金銭処理装置は、自身が収容している硬貨・紙幣の数が所定条件を満足すると前記端末装置に電子メールを送信する電子メール送信手段を更に備え。

前記端末装置は、前記電子メールを受信する電子メール受信手段を更に備えることを特徴とする請求項1記載の金銭在高管理システム。

【請求項3】 前記端末装置は、任意の前記金銭処理装置から提供されたWeリページの情報に基づき該金銭処理装置に対する設定及び設定変更の処理を行う設定・変更処理手段を更に備えることを特徴とする請求項1又は2に記載の金銭在高管理システム。

【請求項4】 前記端末装置は、任意の前記金銭処理装置に対して、該金銭処理装置での入出状況を示す取引データログの送信要求を行う取引データログ送信要求手段を更に備え。

該金銭処理装置は、前記送信要求に対して取引データログを前記端末装置に送信する取引データログ送信手段を更に備えることを特徴とする請求項1乃至3の何れか1つに記載の金銭在高管理システム。

【請求項5】 前記各金銭処理装置は、自身での入出状況を示す取引データログを所定期間で前記端末装置に送信する定期取引データログ送信手段を更に備えることを特徴とする請求項1乃至4の何れか1つに記載の金銭在高管理システム。

【請求項6】 ネットワークに接続するための第1のネットワークインターフェース手段と、各硬貨・紙幣の種類毎にその入出状況を管理する在高管理手段と、前記ネットワークを介してのアクセスに対して自身の持つ情報を提供するWWWサーバとしての機能と、を備える金銭処

【従来の技術】スーパーマーケットが数台の金銭処理装置を設置し、買物を行っている。

【0003】現在、この金銭処理装置の収や釣り銭の管理は、一定時刻になると巡回し、各金銭処理装置内の硬貨・紙幣を見て、釣り銭に必要分の補充を行っておく必要のない高額紙幣の回収。

【0004】【発明が解決しようとする課題】従来の方法及び金銭処理装置への、釣り銭の巡回の仕組みは、管理者が各レジに巡回するため、ある程度余分を見込んで釣り銭を準備する必要がある。そのため、余分の預金利息が減ってしまう。このことによるほど金銭処理装置の数が多くなるべき。

【0005】また、補充の時刻にならなければ、レジの担当者が釣り銭を用意する手間と、レジを閉める必要がある。このことを与え、また客を待たせる等サービスの低下。

【0006】本発明は、上記問題点を解決するため、金銭処理装置内の紙幣・貨幣の在高管理を可能とする金銭在高管理システムを提供する。

【0007】【課題を解決するための手段】本発明のシステムは、金銭の入出を管理する装置と端末装置とがネットワークで接続している。

【0008】そして、上記各金銭処理装置は、ネットワークに接続するための第1のネットワークインターフェース手段及び在高管理手段を備え、上記ネットワークに接続された上で自身の持つ情報を提供するWWWサーバと、各硬貨・紙幣の種類毎にその入出状況を示す取引データログ送信手段を備え。

【0009】上記端末装置は、上記各金銭処理装置と接続するための第2のネットワークインターフェース手段を備える。また上記端末装置は、第2のネットワークインターフェース手段を備える。

【0010】第2のネットワークインターフェース手段は、上記インターネット技術による。

(3)

特開20

3

多くなると、電子メールにより管理者に通知する。

【0011】更にこの金銭在高管理システムは、上記端末装置が任意の前記金銭処理装置から提供されたWebページの情報に基づき該金銭処理装置に対する設定及び設定変更の処理を行う設定・変更処理手段を更に備える構成とすることも出来る。この構成の場合、管理者は、上記端末装置から各金銭処理装置の設定を行ったり、設定変更を行うことが出来る。

【0012】またこの金銭在高管理システムは、上記端末装置に任意の前記金銭処理装置に対して、該金銭処理装置での入出状況を示す取引データログの送信要求を行う取引データログ送信要求手段を更に備え、また上記金銭処理装置が、上記送信要求に対して取引データログを上記端末装置に送信する取引データログ送信手段を更に備える構成とすることも出来る。この構成の場合、管理者は、任意の時刻に任意の金銭処理装置の状況を把握することが出来る。

【0013】更にこの金銭在高管理システムでは、上記金銭処理装置が、自身での入出状況を示す取引データログを所定周期で前記端末装置に送信する定期取引データログ送信手段を更に備える構成とすることも出来る。この構成の場合、定期周期で送信されてくる取引データログを元に種々な情報を得ることが出来る。

【0014】本発明によれば、管理者は端末装置からネットワークを介して各金銭処理装置の状況を把握することが出来る。また、端末装置には金銭処理装置によるWebページが表示され、このWebページから各金銭処理装置に対する設定や、その変更を行える。

【0015】

【発明の実施の形態】以下に本発明の一実施形態について図面を参照しながら説明する。図1は本システムの全体構成を示す図である。

【0016】図1において、各金銭処理装置1-1～1-nは、インターネット2を介して、管理パソコン3と接続している。金銭処理装置1はインターネット2に接続可能なネットワーク部を有し、IPアドレスと電子メールアドレスを保有している。またここでのインターネット2は、インターネットだけでなくイントラネットやエクストラネットをも含んだものを総称しており、例えば1つの店内でのイントラネット技術により構成されたLANも含む。管理パソコン3は、各金銭処理装置1の管理者の所在場所に設置される管理情報機器で、管理者はこの管理パソコン3から各金銭処理装置1-1～1-

4

4

錢機20を備えている。ネットワークアダプタ1、記憶部12、ネットワークインターフェース部14を接続されている。

【0018】ネットワークアダプタ1、記憶部12、ネットワークインターフェース部14を接続されている。

【0019】制御部11は、ネットワーク2全体を制御するもので、記憶部12のRAMに基づいて動作する。記憶部12は、アダプタ10用のプログラムやデータエリアを制御部11に提供するIM等によって構成されている。またフラッシュメモリ等の不揮発性メモリ、Webページ表示用データを記憶している。

【0020】インターネット1を接続するインターフェース部13は、インターネット1を接続するインターフェースである。

【0021】また釣り銭機20は、支払機能を備えるもので、貢物客との各額貨・紙幣の出入りを数え、これによりアダプタ10に通知する。また釣り銭機20は、紙幣の格納場所にセンサを備えており、定数より少くなったりあるいは一つの種類と共に釣り銭切れや高額紙幣等のネットワークアダプタ10に送信する。

【0022】尚金銭処理装置1は、タ10と釣り銭機20を同一の筐体に組成しても、ネットワーク2と釣り銭機20を別構成にし、釣り銭機20とネットワークアダプタ10のインターフェース部14を外部接続する構成といふ。

【0023】管理パソコン3は、金銭処理装置1が設置されるもので、管理者はこのインターネット2を介して各金銭処理装置1の在庫状況を管理する。尚この管

(4)

特開20

5

が容易であり、またP H S若しくは携帯電話機等の移動通信機を接続、若しくは内蔵することにより、無線通信によるインターネット2接続によって携帯機として構成することも出来る。

【0023】管理者は、この管理パソコン3からWWWブラウザを用いて各金銭処理装置1にアクセスすることにより、金銭処理装置1の入出金状況のデータを閲覧したり、金銭処理装置1の様々な設定の変更を行うことが出来る。また各金銭処理装置1は、釣り銭切れ等の場合はインターネット2を介してこの管理パソコン3にメールで通知する。更には管理パソコン3を携帯機として構成した場合、管理者は店内外を問わずどこでも、各金銭処理装置1の入出金状況の閲覧や、アラーム通知のメールを受信を行うことが出来る。

【0024】図3は、ネットワークアダプタ10のソフトウェア構成を示す図である。ネットワークアダプタ10には、インターネット2から自己に接続された相手に対して、ページ表示やメール送信を行う機能が備っている。これらの機能を実現するものとして、ネットワークアダプタ10は、ソフトウェア構成としてハードウェア(HW)の上位層としてOSがあり、その上にインターネットプロトコルとしてTCP/IP、更にその上にファイル転送用のFTP、Webページ表示用のHTTP-Server、電子メール送信機能としてE-Mailとインターネット上の各プロトコルを備え、その上に各アプリケーションがある構成となっている。このアプリケーションとしては、釣り銭機20からの取引データログの収集機能、収集した取引データログを管理パソコン3に送信する取引ログ収集ファイル転送機能、Webページ表示を実現するCGI設定機能及びメール送信機能を実現するアプリケーションソフト、及び各表示ページ用データがある。

【0025】この様にネットワークアダプタ10は、インターネット2から自己にアクセスしてきた相手に対してページ表示やメール送信を実現するための構成として、図3のように比較的簡単な構成を持ち、安定した稼動を実現している。

【0026】図4は、本システムでの各金銭処理装置1と管理パソコン3で行われる処理及びデータの流れを示す図である。同図中管理パソコン3には、ネットワークアダプタ10により用意された各設定用Webページを画面上に表示したり、管理者が設定画面上から入力した設定データをネットワークアダプタ10に送信するため

10

5

ているものであり、管理パソコン3の特別なソフトウェアやハードウェア無い。また管理パソコン3を専用のとした場合には、単純なソフトウェアモリ容量を要せず安価で、小型、軽量できる。

【0027】一方金銭処理装置1側から3からのアクセスに対し認証を行つたファイルの送信要求を受け、メッセージを提供し、管理パソコン3からネットワーク設定、メール送信等取引データログ転送設定と各設定値のまたネットワークアダプタ10は、含まれてくる各貨幣の入出状況を示すり銭不足を知らせるアラーム等の釣りこれらに基づいて、取引データログ不足を通知するメールを管理パソコン：

【0028】次に本システムでの動作である。まず管理者は、管理パソコン3を起動させ、アクセスする金銭処理装置を指定して、ネットワーク接続を1

【0029】これを受けて金銭処理装置として認証用の画面を管理パソコン：5はWWWブラウザ上に表示されるので、画面上にはユーザ名及びパスワード欄51、52、入力後データを送付ボタン53及び入力したデータを取り54が設けてある。管理者は図5の画名、パスワードを入力欄51及び52ボタンを押し、金銭処理装置1にこまる。これを受取った金銭処理装置1アダプタ10は、記憶部12に記憶されたを参照して、認証処理を行う。ネ

10に認証許可されると、管理パソコン上にはメニュー画面が表示され、目的の機能を選択して金銭処理装置を行ったり、取引データログを送信：

【0030】次に金銭処理装置1の更処理について説明する。本実施形態金銭処理装置1に対するインターネットの設定や金銭処理装置内の紙幣・貨幣の設定を変更する必要が生じた場合は、管理パソコン3からインターネット：

(5)

特開20

7

画面上から各値を入力設定していく。図6の場合には、金銭処理装置1のIPアドレス、サブマスクセット、デフォルトゲートウェイ、管理者メールアドレス及びその金銭処理装置1を識別するレジスタ番号を入力欄61、62、63及び64に直接入力若しくは選択入力した後設定ボタン65を押すとこれらのデータが対応する金銭処理装置1のネットワークアダプタ10に送信される。ネットワークアダプタ10では、この設定値に基づいてネットワークの各設定値を変更する。尚このネットワーク設定の項目数は、図6の画面例に示したものだけに限らず、金銭処理装置1が接続されているネットワーク環境によって異なり、例えば他に転送速度や、無線／有線等が設定される。

【0032】図7は、管理者がメール送信設定を選択した時に管理パソコン3上に表示される画面例である。本実施形態では、金銭処理装置1は管理者に対して釣り銭切れや高額紙幣過多のアラーム通知を管理パソコン3へのメール送信の形で行う。図7は、メールによる釣り銭切れのアラーム通知を行う条件値を設定する画面で、各硬貨・紙幣の枚数が何枚以下（あるいは以上）になったら釣り銭不足を通知するメールを管理パソコン3に送信するかを設定する画面である。

【0033】管理者がメニュー画面からメール送信設定変更処理を選択すると、WWWブラウザ上には図7の様な画面が表示される。管理者は、この画面上から各硬貨・紙幣毎に入力欄71～80に枚数を入力し、設定ボタン81を押下して設定値をネットワークアダプタ10に設定する。尚図7のように入力して設定した場合、金銭処理装置1は釣り銭機20内の1円、5円、10円、50円、100円、500円硬貨の何れかが30枚以下若しくは千円札が20枚以下になったときや、千円、5千円、1万円札の何れかが50枚以上になると、メールを送信して釣り銭不足や高額貨幣回収を管理者に通告する。

【0034】図8は、管理パソコン3に送信される釣り銭切れを通知するメールの一例である。同図の例は、日野市多摩平店のレジ番号2の金銭処理装置1から10円硬貨の不足を通知するレターが送信された場合のものである。尚本システムでは、各金銭処理装置1は、設置されている店舗とその店舗内の各金銭処理装置1-1～1-nにそれぞれ設定されたレジ番号によって識別される。

【0035】同図中上欄81は新着メールの一覧を表示する欄で、メールにはその金銭処理装置1の店レジ番号

8

7の設定画面で設定された設定値に、円玉、100円玉についても注意通り。【0036】管理者は、この様なメモリに届くと、金融機関から必要な分を意し、メールを送信して来た金銭処理装置1に金銭処理装置1のネットワークアダプタ10に送信される。ネットワークアダプタ10では、この設定値に基づいてネットワークの各設定値を変更する。尚この時、釣り銭不足シグナル2の金銭処理装置1近辺の他の取引データログを収集し、アラーム処理装置1への釣り銭補充を行うと共に近辺の金銭処理装置1の釣り銭補充する。あるいは近辺の金銭処理装置1や、紙幣が過多状態になっていたら、それから不足している硬貨・紙幣を補充とも出来る。尚この取引データログは、近辺の金銭処理装置1の釣り銭補充する。

【0037】図9は、時計設定時に表示される画面例である。ネットワーク部時計による計時機能を備えており、ついてメールで通知する釣り銭不足取引データログの定期収集等の処理を行は、この内部時計の時刻を設定する。面上の入力欄91に設定する年、月、した後設定ボタン92を押して時刻化した。誤入力時にはクリアボタン93をクリアした後再度入力設定する。

【0038】図10は、取引データ例を示す図である。各金銭処理装置1は毎にその出入りの枚数を教えていく情報を管理パソコン3からの取引データを設定された周期で、あるいは管理パソコン3時に、管理パソコン3に取引データを送信する。図10は、この取引データを周期で管理パソコン3に送信する場合の画面例である。図10の場合、収集0時り0分を入力欄1001及び1002として0時間30分を欄1003に設定後設定ボタン1005を押下して、設定の場合は、ネットワークアダプタ10から30分毎に釣り銭機20からの入力コン3に取引データログファイルとし

【0039】管理パソコン3では、各装置1-1～1-nから収集されたファイル内のデータを用途の応じて加工し

(6)

特開20

10

9

からデータを取り出して加工表示することが出来る。

【0040】図11は、管理パソコン3から金銭処理装置1に取引データログファイルの送信要求を行い、送られてきた情報からその金銭処理装置1の在高状態を調べるために加工表示を行った管理パソコン3の画面表示例である。

【0041】管理者は、金銭処理装置1の現在の在高状況を知りたい時、WWWブラウザを立上げ、そこから目的の金銭処理装置1のIPアドレスへアクセスして、取引データログファイルの送信を要求することにより、その金銭処理装置1の入出金状況のデータを見ることが出来る。

【0042】図11では、要求を行った時点でのその金銭処理装置（日野市多摩平店レジ番号2の金銭処理装置）内の在高数が、各硬貨・紙幣種類毎に表示されている。管理パソコン3にはこの様なデータを必要な時に表示することが出来るので、管理者は各金銭処理装置1から離れた場所においても、その在高状態をリアルタイムで管理することが出来る。

【0043】図12は、定期的に送信されてくる取引データログファイル内のデータを加工し管理パソコン3上に表示した画面表示の例である。図12は、レジ番号2の金銭処理装置1での30分毎の各硬貨・紙幣の出入りについてまとめたもので、管理者は同図から店の閉店（10時）からの30分毎の貨幣種別毎の出入り、及び各硬貨・紙幣毎の在高数を知ることが出来、このデータから釣り銭用の準備金の計画的に用意することが出来る。

【0044】取引データログファイル内のデータの加工方法は、この図12の形式のはかその使用目的に応じて、例えば時間帯や曜日、イベントの有無、金銭処理装置の配置位置等の条件によって各硬貨・紙幣の出入りをまとめ、釣り銭準備金圧縮や客の回転率向上、レジの配置等の参考データとすることもできる。

【0045】図13は本システムのネットワーク構成例である。図13は、1つのネットワークで構成した例で、1つのネットワーク1302に1つの管理パソコン1301と全ての金銭処理装置1303-1～1303-nを有線若しくは無線で接続した例である。

【0046】同図の構成の場合には、全ての金銭処理装置1301-1～1303-nは管理パソコン1301によって一元的に管理される。尚同図のネットワーク1302は、1つの店舗内のLANだけでなく、複数の店

の管理パソコン1402とネットワークし、また全店舗の管理を行うセンターを設けてある。

【0048】この構成の場合、各店舗装置1404はその店に設置して、402が管理し、センターPC141にめられた情報を参照している。

【0049】

【発明の効果】本発明によれば、各店舗情報を、管理者が各金銭処理装置1が出来る。よって、実際に金銭処理装置に行く前に必要な分のみ現金を準備する現金引出しによる預金利息の減らせる。

【0050】また管理者は、必要な金銭装置の在高状態を把握することが出来、管理を行うことが出来る。更に各店舗にある現金の補充／回収を効率良くするので、入金額の削減にもつながる。

【0051】また釣り銭が切れてしまふ端末装置に通知されるので、釣り銭の時閉鎖を回避することができる。更に金銭処理装置に対する設定やその変更をするので、ネットワーク管理や各金銭装置に行うことが出来る。

【0052】また、各金銭処理装置の情報が送られてくるので、使用目的に応じた条件で加工することより、様々な

【0053】更に管理者が使用するソフトウェア、ソフトウェア共特別な仕様はない。よってこの端末装置は小型、軽量である。従って携帯可能な構成にして移動通信と組合わせることにより、1から各金銭処理装置の状況を管理する。

【0054】また金銭処理装置及び比較的簡単なソフトウェア構成によるので、安定したシステム運用が行える。

【図面の簡単な説明】

【図1】本システムの全体構成を示す図
【図2】金銭処理装置の構成を示す図
【図3】ネットワークアダプタの構成図である。

(7)

特開20

11

る設定入力画面例を示す図である。

【図8】管理パソコンに送信される釣り銭切れを通知するメールの表示例を示す図である。

【図9】時計設定時に管理パソコン3に表示される画面例を示す図である。

【図10】取引データログ転送設定画面例を示す図である。

【図11】管理パソコン上に表示する取引データログファイル内のデータの加工表示の例を示す図である。

【図12】定期的に送信されてくる取引データログファイル内のデータを加工し管理パソコン上に表示した画面表示の例を示す図である。

【図13】本システムのネットワーク構成例を示す図で*

* ある。

【図14】本システムのネットワーク図である。

【符号の説明】

1 金銭処理装置

2 インターネット

3 管理パソコン

10 ネットワークアダプタ

11 制御部

12 記憶部

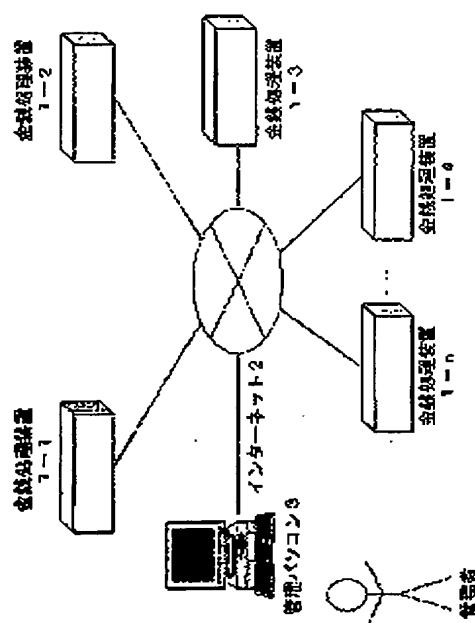
13 ネットワークインターフェース部

14 釣り銭機インターフェース部

20 釣り銭機

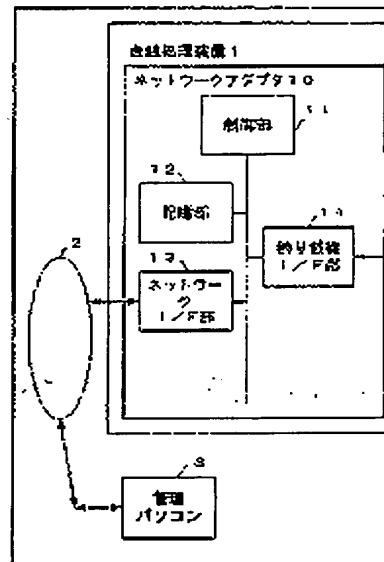
【図1】

本システムの全体構成を示す図



【図2】

金銭処理装置の構成



【図3】

取引データログファイル
データの加工表示の例

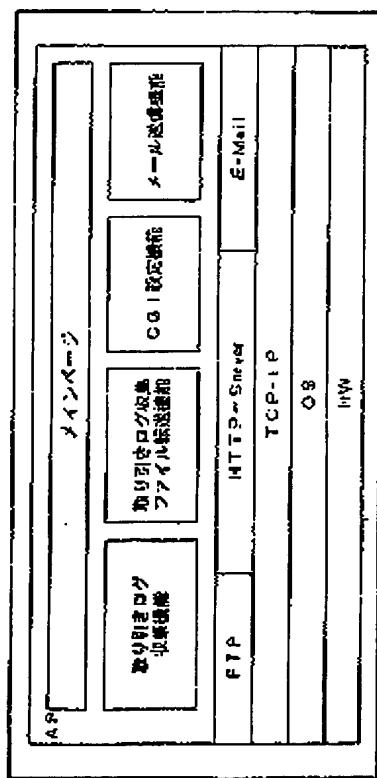
日野市多摩	レジNo
1999/11/21	10:35時
貨物種別	在庫
1円	

(8)

特開20

【図3】

ネットワークアダプタの
ソフトウェア構成を示す図



【図5】

認証画面例を示

【図6】

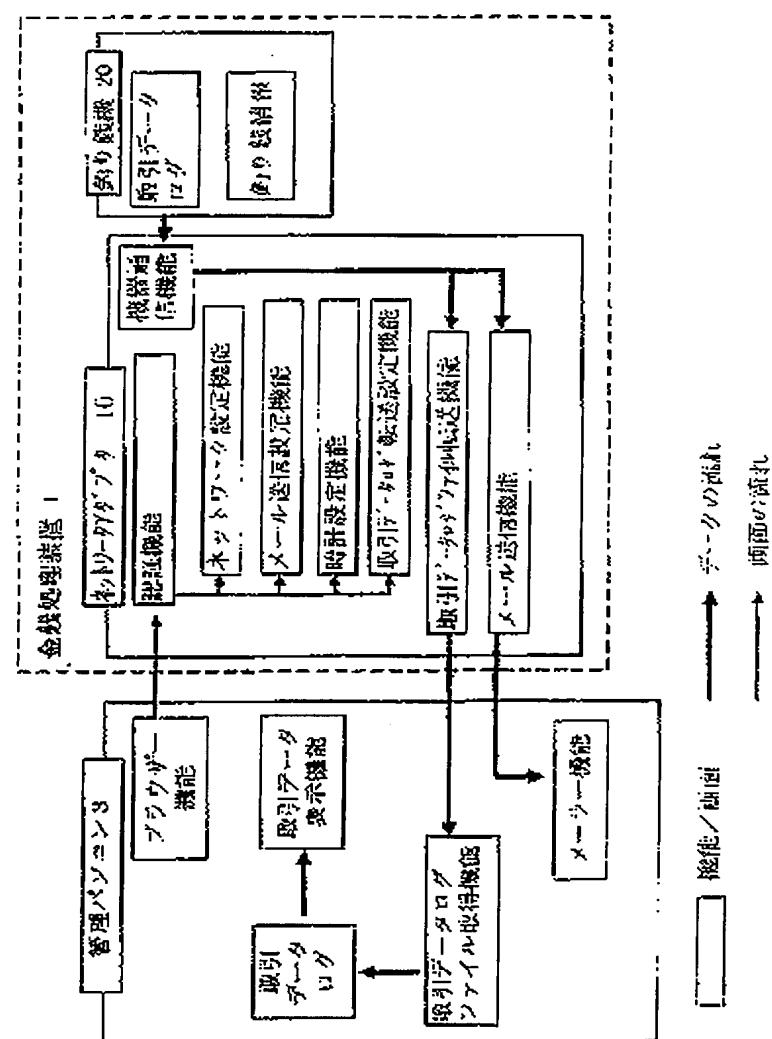
会員登録処理に対する
ネットワーク設定入力画面例

(9)

特開20

【図4】

本システムでの各金銭処理装置と
管理パソコンで行われる処理及びデータの流れを示す図



【図13】

本システムのネットワーク構成例を示す図



(10)

待問20

[ ?]

[8]

メール送信設定入力画面例を示す図

[图9]

時計設定期に管理パソコンに表示される
画面例を示す図

時計設定	24時間制			
年	月	日	時	分
92	7	90	14	41
終了	クリア			

[图10]

監視パソコンに送信されるおり表示されを通知する
メールの表示例を示す

姓 名	市多賀平吉	性 別	男
年 齢	60	出生日付	1939/01/06
郵 便 番 号	新潟市北区新潟第一丁目	連絡電話番号	025-811-1602
被扶養人登録			
被扶養人登録番号	12345678	被扶養人登録番号	0002
被扶養人登録年月日	1966/05/05	被扶養人登録年月日	1966/05/15
被扶養人登録年齢	10歳未満	被扶養人登録年齢	10歳未満
被扶養人登録性別	男	被扶養人登録性別	男
被扶養人登録年齢	30~50才	被扶養人登録年齢	30~50才

取引データログ転送設定画面

ANSWER The answer is 1000. The first two digits of the answer are 10.

取引開始時刻	
時.	分.
10	00
00~23	00~
取得間隔	
時.	分.
60	30
00~24	00~

(11)

待開20

[12]

定期的に送信されてくる取引データログファイル内のデータ
を加工し、パソコン上に表示した画面表示の例を示す
日野市多摩平店 レジNo.2

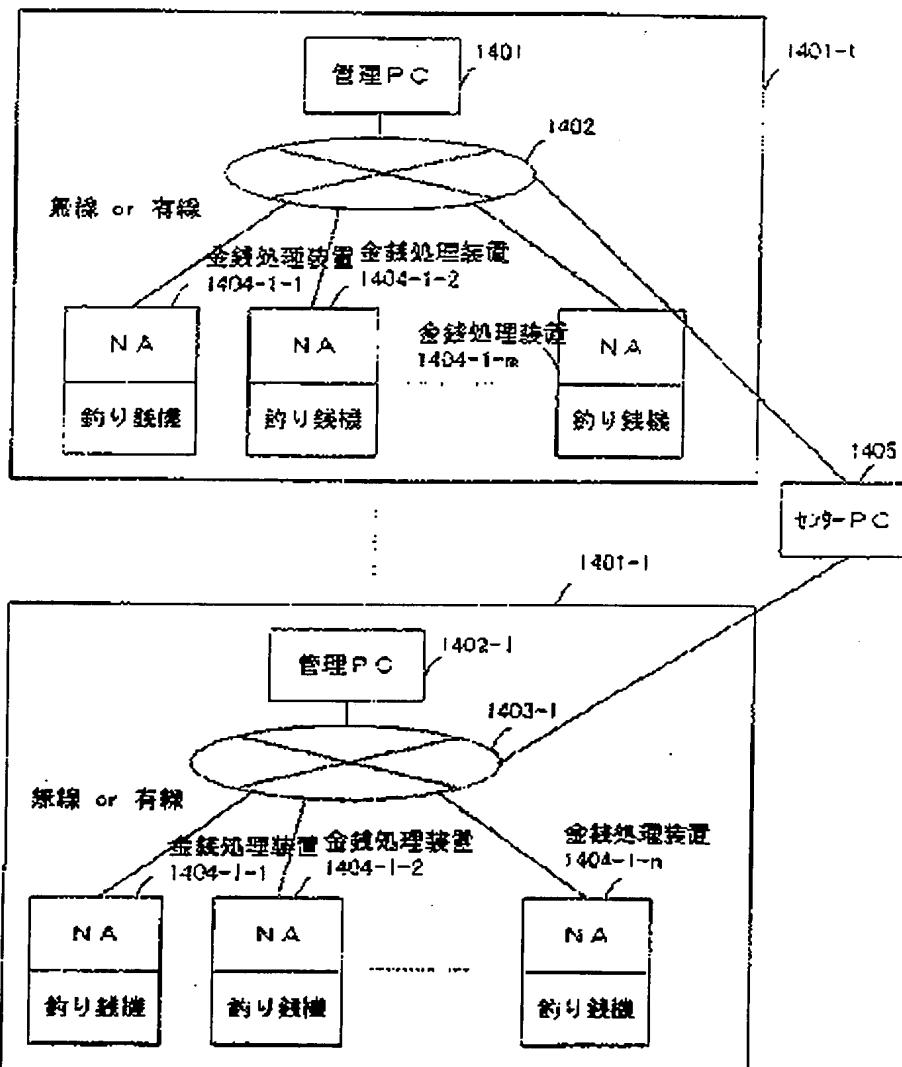
No.	日付	時間	入金		出金		残高数	元上金額
			貯蓄種別	枚数	貯蓄種別	枚数		
1	11月21日	10:00	1円	0	1円	0	100	0
			5円	0	5円	0	100	0
			10円	0	10円	0	100	0
			50円	0	50円	0	100	0
			100円	0	100円	0	100	0
			500円	0	500円	0	50	0
			1000円	0	1000円	0	30	0
			5000円	0	5000円	0	0	0
			10000円	0	10000円	0	0	0
								計10
2	11月21日	10:30	1円	25	1円	33	92	-8
			5円	8	5円	11	93	-15
			10円	40	10円	52	72	-220
			50円	6	50円	14	92	-400
			100円	33	100円	70	63	-3700
			500円	15	500円	12	53	1500
			1000円	34	1000円	33	31	1000
			5000円	5	5000円	2	3	15000
			10000円	7	10000円	0	7	70000
								計23157
3	11月21日	11:00	1円	42	1円	68	68	-24
			5円	20	5円	27	95	-35
			10円	80	10円	101	57	-210
			50円	23	50円	39	83	-350
			100円	79	100円	89	53	-1000
			500円	25	500円	24	54	500
			1000円	42	1000円	45	27	-4000
			5000円	11	5000円	7	7	20000
			10000円	9	10000円	0	16	90000
								計104381
4	11月21日	11:30	1円	118	1円	142	44	-24
			5円	95	5円	103	83	-35
			10円	156	10円	177	36	-210
			50円	99	50円	106	78	-350
			100円	156	100円	165	43	-1000
			500円	101	500円	100	55	500
			1000円	118	1000円	122	23	-4000
			5000円	7	5000円	5	9	10000
			10000円	12	10000円	0	28	120000
								計124981
5	11月21日	12:00	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-

(12)

特開20

[図14]

本システムのネットワーク構成の別例を示す図



フロントページの続き

F ターム(参考)
 3E040 CA16 CB04
 3E042 BA15 CD10 EA01
 5B049 BB11 CC05 CC31 CC36 CC37
 DD01 EE59 FF03 FF04 GG03